

(土木部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
<p>1 活力を創る</p> <p>【戦略1】ビッグチャンスを生かす</p> <p>戦略1 - 産業力の強化</p> <p>中小企業のチャレンジをサポートする</p>	<p>94,498</p>	<p>25,938</p>	<p>1 建設産業総合支援事業</p> <p>(1) 建設業者新分野支援事業 県内建設業者の経営力強化を図るため、新分野（農林水産業、環境、福祉等）進出に係るマーケティング調査や技術の習得、販路開拓のための情報発信に要する経費の一部を補助した。 ・採択事業件数：3件</p> <p>(2) 建設業者合併支援事業 県内建設業者の経営基盤の強化を図るため、合併に要した事務経費（契約書作成、合併公告、登記、合併対象企業の調査）の一部を補助した。 ・採択事業件数14件（うち合併事業件数：14件）</p> <p>(3) 建設産業経営相談支援事業 中小企業支援センターの建設業に精通した相談員を各地に派遣する出前経営相談会（県内11箇所）を実施し、建設業者を対象とした経営相談を行った。 ・相談件数11件</p> <p>(4) 営業所立入調査事業 経営事項審査における財務諸表の疑義案件等について営業所への立入調査を実施した。 ・立入調査件数：1件</p> <p>(5) 建設業者法令遵守対策事業 職員1名、調査指導嘱託員1名の2名体制により、建設業者の営業所等を訪問し、法令遵守指導を行った。 ・訪問件数：220件（うち指導件数21件）</p> <p>(6) 建設産業イメージアップ戦略事業 若年者の人材確保を図るため、行政、業界団体、教育機関が一体となった広報戦略を実施した。 ・イメージアップ動画「つくる部に入ろう」の制作 ・小中学生向け広報誌「どぼくま新聞」の作成 ・「魅力発信展示会」の開催 ・高校生の現場見学への補助 等</p>	<p>建設業指導監督費のうち P317～P318</p>

(土木部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(中小企業のチャレンジをサポートする)			<p>(7) 建設産業若手技術者育成支援事業 若年者の人材育成を図るため、従業員の資格取得、研修、処遇改善に要する経費の一部を補助した。 ・資格取得費補助件数：104件 ・研修費補助件数：1件 ・処遇改善費補助件数：19件</p> <p>(8) 建設業災害対応金融支援事業 建設機械を取得して災害時の応急対応などに備える企業を支援するため、建設機械の購入資金の融資に係る金利の一部を補助した。 ・補助件数：1件</p>	
福祉を成長産業として支援する	209,051	131,808	<p>1 高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業 高齢社会に対応し、高齢者の住まいにふさわしいバリアフリー構造等を有し、ケアの専門家によるサービス付きの高齢者向け住宅の供給を促進するため、中山間地域等において住宅供給を行う民間事業者等に対し、助成を行った。 ・高齢者向け優良賃貸住宅家賃減額補助件数 26件 357戸(補助対象戸数) ・サービス付き高齢者向け住宅整備費補助件数 2件 45戸</p>	住宅建設費のうち P345～P346
<p>【戦略3】地域力を高める 戦略3 - 交流拡大による地域振興 新幹線効果を各地域へ広める</p>	1,201,177	779,097	<p>1 新幹線駅へのアクセス道路整備事業 新幹線の開業効果を最大限に生かすため、市街地や観光地等と新幹線駅とのアクセス向上を図った。</p> <p>(1) 玉名八女線・玉名山鹿線地域道路改築事業 市街地及び観光拠点等と新玉名駅との円滑なアクセスを確保するため、玉名八女線(玉名市玉名 0.95km)及び玉名山鹿線(玉名市元玉名 1.21km)の道路整備を平成27年3月までに完了し、全線供用を開始した。</p> <p>(2) 新八代停車場線地域道路改築事業 八代地域の北部方面から新八代駅へのアクセス性を強化させるとともに、地域の骨格的道路の形成を図るため、新八代停車場線(八代市西方～千丁町 2.7km)の道路整備を促進した。</p>	道路新設改良費のうち P324～P326

(土木部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(新幹線効果を各地域へ広める)			2 港湾海辺空間創造事業等 三角西港の観光地としての認知度が向上したことを踏まえて、三角港の「みなとの賑わい創出と交流拠点の再生」という目標に向けて、三角駅と三角東港を連絡する広場の景観整備を促進した。	港湾建設費のうち P 335 ~ P 337
2 アジアとつながる 【戦略5】アクション・アジア 戦略5 - アジアに打って出る ポートセールスを新体制で展開する	2,375,913	2,163,160	1 八代港の整備 県内最大の物流拠点としての更なる機能向上を図ることを目的として、貨物船の大型化に対応する施設整備等に取り組んでおり、水深 14m航路の整備を促進した。 2 熊本港の整備 熊本都市圏及び県北地域における物流拠点としての機能向上に向け、航路・泊地の埋没対策としての防砂堤を整備するとともに、水深 7.5m航路の整備を促進した。	港湾建設費のうち P 335 ~ P 337
3 安心を実現する 【戦略6】長寿を楽しむ 戦略6 - 長寿の安心を実現するための体制づくり 長寿を支える環境を整備する	493,868	416,552	1 公営住宅ストック総合改善事業(住戸改善分) 県営住宅ストックの有効活用、既存県営住宅の居住水準の向上を目的に、入居者だれもが安全で安心して生活できるように、住戸内の段差解消、手すり設置等のUD配慮改善工事を行った。 ・武蔵ヶ丘団地外 6団地 143戸 2 高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業(再掲)(P131)に記載 高齢社会に対応し、高齢者の住まいにふさわしいバリアフリー構造等を有し、ケアの専門家によるサービス付きの高齢者向け住宅の供給を促進するため、中山間地域等において住宅供給を行う民間事業者等に対し、助成を行った。 ・高齢者向け優良賃貸住宅家賃減額補助件数 26件 357戸(補助対象戸数) ・サービス付き高齢者向け住宅整備費補助件数 2件 45戸	住宅建設費のうち P 345 ~ P 346

(土木部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名																								
【戦略10】災害に負けない熊本 戦略10 - 災害に負けない社会インフラ、ソフト対策の強化 自助・共助・公助を強化する	37,550	33,946	1 河川改修事業 河川課管理の気象観測局 128 (雨量、水位等) 全局について保守点検を行い、その結果により、3局で維持・補修、13局で観測機器の更新等を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>決算額</th> <th>箇所名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単県河川海岸情報基盤整備事業費</td> <td>33,946</td> <td>坪井川 外1河川 熊本港 外3港 等</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	決算額	箇所名	単県河川海岸情報基盤整備事業費	33,946	坪井川 外1河川 熊本港 外3港 等	河川海岸総務費のうち P326～P329																		
事業名	決算額	箇所名																										
単県河川海岸情報基盤整備事業費	33,946	坪井川 外1河川 熊本港 外3港 等																										
災害に強い基盤をつくる	35,966,355	24,284,836	1 道路災害防除事業等 道路における災害を未然に防止するため、平成8～9年度に実施した道路防災総点検における点検箇所や落石の実績がある箇所等、緊急性の高い箇所について、落石や斜面崩壊等に対する防災対策を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>決算額</th> <th>箇所名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単県道路災害防除費</td> <td>646,999</td> <td>大牟田植木線(山鹿市)外52箇所</td> </tr> <tr> <td>防災力強化事業費</td> <td>444,456</td> <td>別府一の宮線(阿蘇市)外1箇所</td> </tr> <tr> <td>道路施設保全改築費のうち災害防除分(国予備費、経済対策分含む)</td> <td>1,641,979</td> <td>国道387号(菊池市)外57箇所</td> </tr> <tr> <td>道路施設保全改築費のうち路側構造物分(経済対策分含む)</td> <td>279,000</td> <td>中津道八代線(八代市)外1箇所</td> </tr> </tbody> </table> 2 橋りょう補修事業 県管理の道路橋において、耐震補強及び老朽化損傷対策を実施した。 老朽化対策としては、橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、全ての橋りょうについて5年に一度の定期点検を行いながら、予防的な修繕を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>決算額</th> <th>箇所名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路施設保全改築費(橋りょう補修分)</td> <td>2,062,625</td> <td>国道266号(天門橋)外166箇所</td> </tr> <tr> <td>単県橋りょう補修費</td> <td>896,143</td> <td>国道266号(不知火跨線橋)外104箇所</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	決算額	箇所名	単県道路災害防除費	646,999	大牟田植木線(山鹿市)外52箇所	防災力強化事業費	444,456	別府一の宮線(阿蘇市)外1箇所	道路施設保全改築費のうち災害防除分(国予備費、経済対策分含む)	1,641,979	国道387号(菊池市)外57箇所	道路施設保全改築費のうち路側構造物分(経済対策分含む)	279,000	中津道八代線(八代市)外1箇所	事業名	決算額	箇所名	道路施設保全改築費(橋りょう補修分)	2,062,625	国道266号(天門橋)外166箇所	単県橋りょう補修費	896,143	国道266号(不知火跨線橋)外104箇所	道路維持費のうち P323～P324 道路新設改良費のうち P324～P326 橋りょう維持費のうち P326
事業名	決算額	箇所名																										
単県道路災害防除費	646,999	大牟田植木線(山鹿市)外52箇所																										
防災力強化事業費	444,456	別府一の宮線(阿蘇市)外1箇所																										
道路施設保全改築費のうち災害防除分(国予備費、経済対策分含む)	1,641,979	国道387号(菊池市)外57箇所																										
道路施設保全改築費のうち路側構造物分(経済対策分含む)	279,000	中津道八代線(八代市)外1箇所																										
事業名	決算額	箇所名																										
道路施設保全改築費(橋りょう補修分)	2,062,625	国道266号(天門橋)外166箇所																										
単県橋りょう補修費	896,143	国道266号(不知火跨線橋)外104箇所																										

(土木部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名																											
(災害に強い基盤をつくる)			3 河川改修事業等 生命・財産の保全や産業の発展に寄与するために、水害常襲地の解消を目的に治水・利水施設の効率的整備を図り、河川環境に配慮しながら河川改修事業を実施した。 併せて、洪水災害等に対する警戒・避難活動を支援するため、総合流域防災事業により、河川監視カメラを設置 (H26：17台、計：51台) するなど防災情報の充実を図った。 また、海岸においては、防災機能を損なった堤防・護岸について、台風高潮に対する防災機能向上を図るため、施設整備事業を実施した。	河川海岸総務費のうち P326～P329 河川改良費のうち P329～P330 海岸保全費のうち P332～P333																											
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>決算額</th> <th>箇所名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河川改修事業費</td> <td>3,664,639</td> <td>大鞠川 外17河川</td> </tr> <tr> <td>都市基盤河川改修費</td> <td>58,815</td> <td>健軍川 外3河川</td> </tr> <tr> <td>単県河川改良費</td> <td>1,081,499</td> <td>浜戸川 外53河川</td> </tr> <tr> <td>河川総合開発事業費</td> <td>45,221</td> <td>路木ダム</td> </tr> <tr> <td>河川等災害関連事業費</td> <td>1,482,748</td> <td>白川 外3河川</td> </tr> <tr> <td>河川激甚災害対策特別緊急事業費</td> <td>7,366,254</td> <td>白川 外1河川</td> </tr> <tr> <td>海岸高潮対策事業費</td> <td>199,416</td> <td>荒尾海岸</td> </tr> <tr> <td>単県海岸保全費</td> <td>267,442</td> <td>湯の児海岸 外11海岸</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	決算額	箇所名	河川改修事業費	3,664,639	大鞠川 外17河川	都市基盤河川改修費	58,815	健軍川 外3河川	単県河川改良費	1,081,499	浜戸川 外53河川	河川総合開発事業費	45,221	路木ダム	河川等災害関連事業費	1,482,748	白川 外3河川	河川激甚災害対策特別緊急事業費	7,366,254	白川 外1河川	海岸高潮対策事業費	199,416	荒尾海岸	単県海岸保全費	267,442	湯の児海岸 外11海岸	砂防費のうち P330～P332
			事業名	決算額	箇所名																										
			河川改修事業費	3,664,639	大鞠川 外17河川																										
			都市基盤河川改修費	58,815	健軍川 外3河川																										
			単県河川改良費	1,081,499	浜戸川 外53河川																										
			河川総合開発事業費	45,221	路木ダム																										
			河川等災害関連事業費	1,482,748	白川 外3河川																										
			河川激甚災害対策特別緊急事業費	7,366,254	白川 外1河川																										
			海岸高潮対策事業費	199,416	荒尾海岸																										
単県海岸保全費	267,442	湯の児海岸 外11海岸																													
4 防災体制の強化推進 土砂災害に対する警戒・避難体制の整備強化を図るため、次の事業を実施した。	砂防費のうち P330～P332																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>決算額</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土砂災害情報相互通報システム事業</td> <td>15,644</td> <td>防災情報ネットワークの整備</td> </tr> <tr> <td>砂防関係基礎調査事業情報基盤事業</td> <td>836,647</td> <td>基図作成、基礎調査 区域指定 3,191箇所 (累計 9,863箇所)</td> </tr> <tr> <td>火山噴火警戒避難対策事業</td> <td>10,744</td> <td>緊急減災対策計画等</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	決算額	内容	土砂災害情報相互通報システム事業	15,644	防災情報ネットワークの整備	砂防関係基礎調査事業情報基盤事業	836,647	基図作成、基礎調査 区域指定 3,191箇所 (累計 9,863箇所)	火山噴火警戒避難対策事業	10,744	緊急減災対策計画等	砂防費のうち P330～P332																		
事業名	決算額	内容																													
土砂災害情報相互通報システム事業	15,644	防災情報ネットワークの整備																													
砂防関係基礎調査事業情報基盤事業	836,647	基図作成、基礎調査 区域指定 3,191箇所 (累計 9,863箇所)																													
火山噴火警戒避難対策事業	10,744	緊急減災対策計画等																													
5 土砂災害対策 土石流、地すべり、がけ崩れの土砂災害を防止し、県民の生命・財産を守るため、土砂災害防止施設等の整備を実施した。	砂防費のうち P330～P332																														

(土木部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名												
(災害に強い基盤をつくる)			<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="931 293 1301 331">事業名</th> <th data-bbox="1301 293 1462 331">決算額</th> <th data-bbox="1462 293 1892 331">箇所名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="931 331 1301 370">砂防事業</td> <td data-bbox="1301 331 1462 370">1,947,802</td> <td data-bbox="1462 331 1892 370">飯川 外 50 箇所</td> </tr> <tr> <td data-bbox="931 370 1301 408">地すべり対策事業</td> <td data-bbox="1301 370 1462 408">265,091</td> <td data-bbox="1462 370 1892 408">筒井地区 外 12 箇所</td> </tr> <tr> <td data-bbox="931 408 1301 446">急傾斜地崩壊対策事業</td> <td data-bbox="1301 408 1462 446">1,071,672</td> <td data-bbox="1462 408 1892 446">長浜地区 外 58 箇所</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	決算額	箇所名	砂防事業	1,947,802	飯川 外 50 箇所	地すべり対策事業	265,091	筒井地区 外 12 箇所	急傾斜地崩壊対策事業	1,071,672	長浜地区 外 58 箇所	
事業名	決算額	箇所名														
砂防事業	1,947,802	飯川 外 50 箇所														
地すべり対策事業	265,091	筒井地区 外 12 箇所														
急傾斜地崩壊対策事業	1,071,672	長浜地区 外 58 箇所														
4 百年の礎を築く 【戦略11】熊本都市圏の拠点性向上 戦略11 - ハブ機能の強化 大空港構想を進める	11,725	10,619	1 違反広告物等対策嘱託職員費 違反広告物の対策強化のため嘱託職員を配置し、空港周辺の継続的な沿道監視を行い、違反広告物の新規掲出を抑制した。 ・空港周辺監視回数 87 回(個別指導回数：16 回)	都市計画総務費のうち P338～P341												
世界的な熊本駅をめざす	7,708,206	7,069,713	1 連続立体交差事業 熊本駅から上熊本駅付近までのJR鹿児島本線6kmと豊肥本線1kmの鉄道の高架化区間のうち、平成27年3月にJR鹿児島本線上り線6kmと下り線の北側4kmの高架橋が完成した。併せて、上熊本駅舎及び熊本駅上り線ホームも完成した。	都市計画総務費のうち P338～P341												
すべての道はくまもとに通じる	7,702,701	6,338,371	<p>1 九州横断自動車道延岡線 1,321,575 千円 本県の九州における拠点性を高めることを目的として、横軸となる九州横断自動車道延岡線の小池高山IC・山都間の整備を促進した。また、本路線の地域における利便性を高めるための追加インターチェンジについての整備を促進するとともに、アクセス道の整備を推進した。</p> <p>2 南九州西回り自動車道 1,598,464 千円 九州の縦軸となる南九州西回り自動車道において、熊本県側で未供用区間となっている芦北IC・県境間の整備を促進した。</p> <p>3 熊本天草幹線道路事業 2,731,247 千円 熊本都市圏と天草地域や沿線地域との交流・連携強化を図ることを目的とした熊本天草幹線道路において、国道266号大矢野バイパス及び国道324号本渡道路の整備を推進した。 また、熊本宇土道路及び宇土道路の整備を促進した。</p> <p>4 国道57号4車線化事業 232,440 千円 阿蘇地域の主要幹線道路である国道57号の観光シーズンや休日における渋滞解消を図ることを目的として、4車線拡幅整備を促進し、平成27年3月には、新たに2.5kmの区間(立野・瀬田拡幅)が4車線化された。</p>	道路新設改良費のうち P324～P326												

(土木部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名						
<p>【戦略12】悠久の宝の継承 戦略12 - くまもとの歴史・文化の磨き上げ、継承 歴史・文化を磨き上げる</p>	97,806	70,999	<p>1 鞠智城国営公園化PR事業 鞠智城の歴史的認知度の向上を図り国営公園化を推進した。 ・シンポジウム(明大アカデミーコモン)の開催 ・鞠智城展(びふれす広場・イオン八代)の開催 ・鞠智城を紹介する映像作成 ・鞠智城キャラクター「ころう君」のキャラバン隊によるPR活動実施</p> <p>2 鞠智城公園推進事業 鞠智城大規模歴史公園基本計画において、航空レーザー計測及びゾーニングの見直し、事業化計画の検討を実施し、有識者へのヒアリングを行った。</p>	都市公園費のうち P342～P343						
<p>戦略12 くまもとの自然・景観の保全・継承 阿蘇の草原・景観を引き継ぐ</p>	2,444	1,941	<p>1 美しく品格ある景観づくり啓発事業 地域における景観づくり活動の中心的役割を担う人材育成を図るため、地域景観コーディネーター養成講座及び既登録者を対象とした実践講座を開催した。 ・地域景観コーディネーター登録者56名(登録者総数90名) ・実践講座受講者25名</p> <p>2 市町村景観計画策定支援等事業 阿蘇地域の良好な景観保全及び形成を図るために阿蘇管内7市町村が取り組んでいる景観計画及び景観条例の策定を支援するため、市町村への指導助言を実施した。</p>	景観整備費のうち P320～P321						
<p>【戦略13】環境を豊かに 戦略13 - 生活と自然との共生 みどりの創造プロジェクトを進める</p>	1,077,650	683,532	<p>1 単県沿道環境整備事業 地域の実情に即した環境再生・景観向上・緑化等事業を推進することで、次世代へと継承すべき豊かな自然環境の保全・再生を図るため、関係機関との協議や基本設計の実施並びに景観に配慮した防護柵整備や防草対策等を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="936 1337 1861 1417"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>決算額</th> <th>箇所名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単県沿道環境整備事業</td> <td>406,517</td> <td>国道266号(宇城市)外10箇所</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	決算額	箇所名	単県沿道環境整備事業	406,517	国道266号(宇城市)外10箇所	道路維持費のうち P323～P324
事業名	決算額	箇所名								
単県沿道環境整備事業	406,517	国道266号(宇城市)外10箇所								

(土木部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名															
(みどりの創造プロジェクトを進める)			<p>2 単県河川環境整備事業 河川環境を再生し、人々が集い親しめる河川空間を創出するため、環境に配慮した護岸整備を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="931 376 1861 456"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>決算額</th> <th>箇所名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単県河川環境整備費</td> <td>152,504</td> <td>花原川 外5河川</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 単県港湾環境整備事業 天草へ通じる海の玄関口である三角港のほか、港における緑化等景観整備を実施するため、緑地等の整備に向けた広場整備工等を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="931 603 1861 683"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>決算額</th> <th>箇所名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単県港湾環境整備事業</td> <td>124,511</td> <td>三角港 外3箇所</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	決算額	箇所名	単県河川環境整備費	152,504	花原川 外5河川	事業名	決算額	箇所名	単県港湾環境整備事業	124,511	三角港 外3箇所	<p>河川改良費のうち P329～P330</p> <p>港湾建設費のうち P335～P337</p>			
事業名	決算額	箇所名																	
単県河川環境整備費	152,504	花原川 外5河川																	
事業名	決算額	箇所名																	
単県港湾環境整備事業	124,511	三角港 外3箇所																	
有明海・八代海を再生する	2,966,518	2,508,690	<p>1 浄化槽整備事業 公共用水域の水質保全及び生活環境の改善に資するため、浄化槽設置者に補助を行っている市町村に対し補助を行った。 また、市町村自らが設置主体となって浄化槽の整備を行う事業に対して、事業の翌年度に事業費の6.5%を交付し、さらに、国庫補助対象とならない事業(10基未満)に対しては、事業費の1/6を当年分として補助することにより、浄化槽整備を推進した。 また、単独処理浄化槽又はくみ取便所から合併処理浄化槽へ転換した場合、浄化槽設置整備事業に加えて、浄化槽の設置に要する経費の2割に相当する額を基準額として市町村が助成する場合に、その1/2を上乗せ補助し合併処理浄化槽への転換を促進した。</p> <table border="1" data-bbox="931 1070 1890 1406"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>決算額</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浄化槽設置整備事業(個人設置型)</td> <td>211,910</td> <td>熊本市外32市町村1,573基</td> </tr> <tr> <td>浄化槽市町村整備推進事業交付金(市町村設置型)</td> <td>13,652</td> <td>玉名市外8市町村245基</td> </tr> <tr> <td>市町村設置型浄化槽整備促進事業</td> <td>639</td> <td>八代市外2町5基</td> </tr> <tr> <td>合併処理浄化槽整備促進事業</td> <td>8,385</td> <td>宇土市外7町村101基</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	決算額	内容	浄化槽設置整備事業(個人設置型)	211,910	熊本市外32市町村1,573基	浄化槽市町村整備推進事業交付金(市町村設置型)	13,652	玉名市外8市町村245基	市町村設置型浄化槽整備促進事業	639	八代市外2町5基	合併処理浄化槽整備促進事業	8,385	宇土市外7町村101基	環境整備費のうち P206～P208
事業名	決算額	内容																	
浄化槽設置整備事業(個人設置型)	211,910	熊本市外32市町村1,573基																	
浄化槽市町村整備推進事業交付金(市町村設置型)	13,652	玉名市外8市町村245基																	
市町村設置型浄化槽整備促進事業	639	八代市外2町5基																	
合併処理浄化槽整備促進事業	8,385	宇土市外7町村101基																	

(土木部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名															
(有明海・八代海を再生する)			2 集落排水事業 公共用水域の水質保全及び農村・漁村地域の生活環境の改善に資するため、農業・漁業集落における生活排水処理施設について、市町村が主体となつて行う整備に対して事業の翌年度に事業費の6.5%を交付することにより、集落排水施設整備を推進した。	土地改良費のうち P260～P261 漁港建設管理費のうち															
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>決算額</th> <th>箇所名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農業集落排水施設整備推進費</td> <td>26,090</td> <td>米田東部(山鹿市)横島(玉名市)</td> </tr> <tr> <td>団体営農業集落排水事業費</td> <td>52,200</td> <td>横島(玉名市)地区 外9地区</td> </tr> <tr> <td>漁業集落排水施設整備後年交付金</td> <td>1,950</td> <td>御所浦漁港(天草市)</td> </tr> <tr> <td>漁業集落排水施設整備事業費</td> <td>46,925</td> <td>御所浦漁港(天草市)</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	決算額	箇所名	農業集落排水施設整備推進費	26,090	米田東部(山鹿市)横島(玉名市)	団体営農業集落排水事業費	52,200	横島(玉名市)地区 外9地区	漁業集落排水施設整備後年交付金	1,950	御所浦漁港(天草市)	漁業集落排水施設整備事業費	46,925	御所浦漁港(天草市)	P289～P291
			事業名	決算額	箇所名														
			農業集落排水施設整備推進費	26,090	米田東部(山鹿市)横島(玉名市)														
			団体営農業集落排水事業費	52,200	横島(玉名市)地区 外9地区														
漁業集落排水施設整備後年交付金	1,950	御所浦漁港(天草市)																	
漁業集落排水施設整備事業費	46,925	御所浦漁港(天草市)																	
3 流域下水道建設事業 公共用水域の水質保全及び生活環境の改善に資するため、流域別下水道整備総合計画に基づき、県内3箇所(熊本北部、球磨川上流、八代北部)の流域下水道の整備を行った(11市町村) 熊本北部流域下水道においては、水処理施設の改築に併せ高度処理化を実施しており、1～3池目については、平成26年度までに高度処理施設として運用開始した。平成23年度から併用開始している8池目と合わせ、現在、施設能力の52%程度を高度処理化している。	熊本北部流域下水道建設費(熊本県流域下水道事業特別会計)のうち P466～P467 球磨川上流流域下水道建設費(同上)のうち																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>箇所名</th> <th>決算額</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>熊本北部流域</td> <td>727,453</td> <td>処理場の増設・改築更新及び耐震対策工事</td> </tr> <tr> <td>球磨川上流流域</td> <td>64,057</td> <td>処理場の改築更新及び耐震対策工事</td> </tr> <tr> <td>八代北部流域</td> <td>27,474</td> <td>長寿命化計画策定調査及び下水道BCP策定業務委託</td> </tr> </tbody> </table>	箇所名	決算額	内 容	熊本北部流域	727,453	処理場の増設・改築更新及び耐震対策工事	球磨川上流流域	64,057	処理場の改築更新及び耐震対策工事	八代北部流域	27,474	長寿命化計画策定調査及び下水道BCP策定業務委託	P469 八代北部流域下水道建設費(同上)のうち P471						
箇所名	決算額	内 容																	
熊本北部流域	727,453	処理場の増設・改築更新及び耐震対策工事																	
球磨川上流流域	64,057	処理場の改築更新及び耐震対策工事																	
八代北部流域	27,474	長寿命化計画策定調査及び下水道BCP策定業務委託																	
4 流域下水道維持管理事業 公共用水域の水質保全及び生活環境の改善に資するため、県内3箇所(熊本北部、球磨川上流、八代北部)の流域下水道について、指定管理者制度により導入し、適正かつ効率的な維持管理を行った(11市町村)。	熊本北部流域下水道管理費(同上)のうち P465～P466																		

(土木部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名												
(有明海・八代海を再生する)			<p>熊本北部浄化センターにおいては、下水の処理過程で発生する消化ガスを利用した発電及び放流水の落差を利用した小水力発電を行うことにより、維持管理に必要な購入電力量を約 40%削減するとともに、地球温暖化防止にも貢献することができた。併せて、消化ガス発電によって産み出す電力は「グリーン電力価値」を有しているため、電気そのものと切り離して証書として売却することで、収入を得た。(平成 26 年度 収入額 7,351 千円)</p> <table border="1" data-bbox="931 453 1874 608"> <thead> <tr> <th>箇所名</th> <th>決算額</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>熊本北部流域</td> <td>894,766</td> <td>平成 26 年度処理水量 20,067,923m³</td> </tr> <tr> <td>球磨川上流流域</td> <td>213,291</td> <td>平成 26 年度処理水量 2,441,304m³</td> </tr> <tr> <td>八代北部流域</td> <td>219,766</td> <td>平成 26 年度処理水量 2,271,097m³</td> </tr> </tbody> </table>	箇所名	決算額	内 容	熊本北部流域	894,766	平成 26 年度処理水量 20,067,923m ³	球磨川上流流域	213,291	平成 26 年度処理水量 2,441,304m ³	八代北部流域	219,766	平成 26 年度処理水量 2,271,097m ³	球磨川上流流域下水道管理費(熊本県流域下水道事業特別会計)のうち P 467 ~ P 469 八代北部流域下水道管理費(同上)のうち P 469 ~ P 471
箇所名	決算額	内 容														
熊本北部流域	894,766	平成 26 年度処理水量 20,067,923m ³														
球磨川上流流域	213,291	平成 26 年度処理水量 2,441,304m ³														
八代北部流域	219,766	平成 26 年度処理水量 2,271,097m ³														
6 その他 (15) 熊本広域大水害への対応	21,420,728	13,512,163	<p>1 河川激甚災害対策特別緊急事業 平成 24 年 7 月 12 日に発生した熊本広域大水害により沿川の地域に甚大な被害が発生した白川外 1 河川について、家屋浸水被害を効果的に軽減するために、平成 24 年度から概ね 5 年間を目処に緊急的な事業を実施している。平成 26 年度については、用地買収・河床掘削等を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="931 855 1890 986"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>決算額</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河川激甚災害対策特別緊急事業費(再掲)(P134)に記載</td> <td>7,366,254</td> <td>白川・黒川</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 河川等災害関連事業 平成 24 年 7 月 12 日に発生した熊本広域大水害により甚大な被害が発生した白川外 6 箇所については、再度災害防止や安全度向上のため、改良工事を加えて復旧事業を実施している。平成 26 年度については、用地買収・河床掘削等を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="931 1168 1890 1299"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>決算額</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河川等災害関連事業費(再掲)(P134)に記載</td> <td>1,482,748</td> <td>白川 外 3 河川</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	決算額	内 容	河川激甚災害対策特別緊急事業費(再掲)(P134)に記載	7,366,254	白川・黒川	事業名	決算額	内 容	河川等災害関連事業費(再掲)(P134)に記載	1,482,748	白川 外 3 河川	河川改良費のうち P 329 ~ P 330
事業名	決算額	内 容														
河川激甚災害対策特別緊急事業費(再掲)(P134)に記載	7,366,254	白川・黒川														
事業名	決算額	内 容														
河川等災害関連事業費(再掲)(P134)に記載	1,482,748	白川 外 3 河川														

(土木部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名									
(15)熊本広域大洪水への対応)			<p>3 土砂災害対策 土砂災害が発生した箇所の再度災害を防止し、生命・財産を守るため砂防設備の整備を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="931 368 1892 555"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>決算額</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砂防激甚災害対策特別緊急事業費</td> <td>2,425,796</td> <td>阿蘇地域 30 箇所 (測量・設計、用地補償、工事)</td> </tr> <tr> <td>災害関連緊急砂防事業費</td> <td>2,231,365</td> <td>阿蘇地域 11 箇所、菊池地域 2 箇所 (工事)</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	決算額	内容	砂防激甚災害対策特別緊急事業費	2,425,796	阿蘇地域 30 箇所 (測量・設計、用地補償、工事)	災害関連緊急砂防事業費	2,231,365	阿蘇地域 11 箇所、菊池地域 2 箇所 (工事)	砂防費のうち P 330 ~ P 332
事業名	決算額	内容											
砂防激甚災害対策特別緊急事業費	2,425,796	阿蘇地域 30 箇所 (測量・設計、用地補償、工事)											
災害関連緊急砂防事業費	2,231,365	阿蘇地域 11 箇所、菊池地域 2 箇所 (工事)											
(16)くまもとアートポリス推進事業	15,100	12,625	<p>1 くまもとアートポリス推進事業 環境デザインに対する関心を高め、都市文化並びに建築文化の向上を図るとともに、文化の情報発信地としての熊本を目指して、優秀な建築家やデザイナーの才能・アイデアを集結し、機能面はもとよりデザイン面にも優れた、後世に残る文化的資産を創造する「くまもとアートポリス事業」を推進するために、各種事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アートポリス 2014 アジア国際シンポジウムの開催及び国際学生設計コンペティションの実施(参加 253 人、応募 33 点うち海外 5 点) ・アートポリス推進賞 20 回記念シンポジウムの開催(参加者 200 人) ・アートポリス見学ツアーの実施(参加者 40 人) ・アートポリスを国内外へ情報発信するため海外での展覧会や講演会等への協力・参加 日本・サウジアラビア外交関係樹立 60 周年記念イベント(1 月、サウジアラビア) 第 3 回国連防災世界会議パブリックフォーラム(3 月、宮城県) アートポリス海外巡回展((独法)国際交流基金主催、42 か国 72 都市(平成 15 年度~平成 26 年度)) ・国内外からのくまもとアートポリス施設の視察者に対し、案内や事業説明等の実施 (33 回 639 人うち海外 201 人) 	土木総務費のうち P 315 ~ P 317									
(17)建築物環境性能向上促進事業	926	210	<p>1 建築物環境性能向上促進事業 建築物に係る温室効果ガス排出削減の取組みを促すために、熊本県地球温暖化の防止に関する条例に基づき、「熊本県建築物環境配慮制度」を平成 22 年 10 月 1 日に施行し、平成 27 年 3 月末までに建築物環境配慮計画書の届出が 394 件あった。 また、改正された省エネ基準の普及促進のために、建築技術者等を対象とした技術講習会を開催した。(平成 27 年 2 月、参加者 302 人)</p>	建築指導費のうち P 318 ~ P 320									